

# 胆嚢粘液嚢腫とは

胆嚢は肝臓で作られた胆汁(脂肪やアミノ酸の消化吸収に不可欠)を一時的に溜め、必要な時に十二指腸に胆汁を分泌する働きがあります。

胆嚢内にゼリー状の粘液が溜まり、流れが滞ることで場合によっては胆嚢破裂を起こし、命に関わります。

## 《症状》

初期段階である胆泥症ではこれといった症状はありません。

※胆泥症がある子でも胆嚢粘液嚢腫にならない子もいます。

胆嚢粘液嚢腫になっていても、重度の停滞が無ければ症状は現れません。重度に胆汁の流れが停滞してしまうと以下のような症状が現れます。

- 嘔吐
- 腹痛
- 黄疸(白目や皮膚が黄色くなる)
- 食欲が無い
- 元気が無い

## 《診断》

エコー検査で胆嚢の内部を調べることで診断できます。

血液検査でもALT、ALP、GGTと言った肝臓・胆嚢のマーカーで高値を示すことがあります。

↓胆泥のエコー



↓胆嚢粘液嚢腫のエコー



## 《治療》

### ◆外科治療

根本的な治療は手術で胆嚢を摘出することです。しかし手術の難易度やリスクも大きく、手術をするかどうかは慎重な判断が必要になります。

胆嚢破裂が強く懸念される場合や症状が強い場合、すでに破裂している場合などに選択されます。

しかしすでに破裂している場合はショック状態にいたり、一般状態が非常に悪くなっているため数日点滴などで治療し、状態を改善してから臨むこともあります。

### ◆内科治療

胆管を広げる薬や胆汁の流れを良くする薬などを使用し、胆嚢破裂や閉塞のリスクをなるべく下げる治療を行います。

### ◆食事療法

高脂血症を併発している場合や胆嚢の負担を下げるために低脂肪食が推奨される場合があります。